



金沢の歴史講演会 「畠山重保公と釜利谷」



6月22日(土)、釜利谷地区センターにて、横浜金沢文化協会主催・金沢区役所などの後援による歴史講演会「畠山重保公と釜利谷」が開催された。会場は、約130人の聴衆で超満員となり、大成功裏に推移した。本講演に先立ち、曹洞宗禅林寺の菊池住職による当寺と畠山公との係りについての紹介があった。また、

畠山重保公の子孫の畠山操様(元・金沢警察署長、横須賀市湘南鷹取)と畠山洋子様(横須賀市栗田)が見えられ紹介された。続いて本番に入り、これまで数多く当文化協会主催の文化・歴史講演会にて講演されて来た、文学博士にして歴史研究家の盛本昌広氏による講演が行なわれた。講演内容は、鎌倉時代の武将の家系である畠山氏の出自、重保の父・重忠の活躍、謀反の嫌疑、重保公の殺害などについて微に入り細に入り講釈された。重保公は偉大にして高名な父・重忠公の影に隠されがちな人物であったが、それを大きく表に引き出したのは、講師の研究力量であり、聴衆に大きな感銘を与えた。なお、講演に先立つ午前中、白山道トンネル北側に所在する畠山六郎重保公廟所にて、臨濟宗白山東光禅寺小澤住職・曹洞宗竹富山禅林寺菊池住職の読経の後、町会関係者及び文化協会役員による墓参が行なわれた。また講演終了後は、盛本講師を始め希望者多数による墓参が行なわれた。



NPO法人 横浜金沢文化協会会報



NPO法人
横浜金沢文化協会
編集人 野中 建吾
☎ 781-5044
発行人 橋川 和夫
理事 幸栄印刷(株)
☎ 716-3366

☆ 予 告 ☆
「文化講演会」
のお知らせ
詳細は、6ページをご覧
下さり、会員の皆様には
是非ともご聴講のほど
お願い申し上げます。



故・楠山永雄顧問 ご逝去哀悼

横浜金沢の歴史的資料の収集家として高名なNPO法人横浜金沢文化協会顧問・楠山永雄氏が3月10日、ご逝去されました。享年82歳。ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。
NPO法人横浜金沢文化協会一同 合掌

5月26日(日)午後1時から、金沢産業振興センター大会議室で、平成25年度通常総会が開催された。司会は坂事務局長、会員総数144名中、委任状を含め127名が出席。冒頭の橋川理事長挨拶の後、来賓の依田副区長、続いて松崎県会議員から議員団を代表して祝辞があった。議長には野中副理事長が選任され、議事録署名人には橋川理事長、榎本理事が選任された。議事は次の通り。
第1号議案 平成24年度事業報告並びに収支計算報告、会計監査報告
第2号議案 平成25年度事業計画案並びに収支予算案
第3号議案 役員選出等の件
以上、各議案とも異議なく承認された。議事終了後、今回特に、出席者が全員自己紹介の後、午後2時30分無事閉会した。



NPO法人
横浜金沢文化協会
通常総会



青少年健全育成事業



海苔づくり教室



第5回「海苔づくり教室」が3月23日(土)に、野島青少年センターとセンター前の野島公園スペースで実施された。この事業は、本協会会員を中心に結成されている「海苔づくり実行委員会」が、金沢区より区の文化伝承事業として委託を受けて実施している。今回は区内の小学生40名及び保護者32名が参加して、3グループに分かれ、実行委員会スタッフの指導の下、①海苔切り



②海苔つけ③海苔干しのそれぞれの行程を行った。参加した人々にとっては、ほとんど初めての経験であったが、徐々に手際よく作業を終えた。海苔が乾燥するまでの時間を利用し、「海苔の生態」「海苔づくりの歴史」等について解説を行い、また、昼食時には「生海苔入りの味噌汁」を味わうなどした。午後は横濱金澤シティーガイド協会メンバーにより野島公園内の史跡などの解説を織り交ぜて展望台まで散策。当日は曇天で、海苔干しが十分にできなかったが、参加者は自分が海苔つけをした簀子(すのこ)を貰って満足して家路についた。



塩田による塩づくり



海苔づくりと同様、本協会会員を中心に結成された「塩田による塩づくり実行委員会」が、金沢区より区の文化伝承事業として委託を受けて実施している第12回「塩田による塩づくり教室」が、7月20日(土)と7月28日(日)の2日にわたり実施された。7月20日は、午前9時より区役所中庭会議室で「塩の作り方」について、昨年度の資料映像を用いた説明で、作業の概略を学習した後、参加小学生22名が2グループに分かれ、実行委員の指揮の下、「塩の道を歩く」に出発。当初の予定通り「朝夷奈切り通し」を越えて、鎌倉十二所の塩嘗地蔵のある「光触寺」までのコースを歩き、往時の塩運びの様子に思いを巡らせた。



7月28日は晴天に恵まれ、海の公園バーベキュー場側砂浜に小学生26名、保護者19名、スタッフ32名が参加。砂浜に塩田を5面設置。5班に分かれて、海水汲み、海水散布、畝作りを2回繰り返し、鹹砂の濾過、鹹水採取、煮詰め、

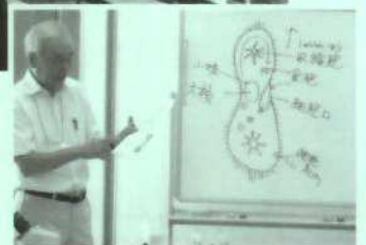


ニガリ抜き等の一連の作業をスタッフのリードで実施した。参加した小学生にとっては、ほとんど初めての体験であったが、手際よく作業を終えた。煮詰めの作業中に昼食をとり、その後スイカ割りも行い、自作の塩をかけて食べる子もいた。5班とも予定通り、よい塩を採取し、参加した皆で分け合い、事故や熱中症もなく午後2時過ぎに無事終了した。



夏休み小学生体験学習教室

野口英世細菌検査室保存会は、8月18日(日)、長浜ホールにて、恒例の「夏休み小学生体験学習教室」を開催した。先ず「顕微鏡教室」。神奈川歯科大学から貸与された倍率400の顕微鏡で、単細胞生物ゾウリムシにより、顕微鏡の使用法そして観察記録の仕方を学び、その後、当会が準備した各種細菌などの試料や自宅から持参した草花・水・虫などを観察した。次は「野口英世を学ぶ教室」。野口の生涯を紙芝居と写真で学び、医学上の功績や研究の進め方、人生観に触れた後、細菌検査室見学を通じて113年前の22歳の野口を想像させた。近年、保存会は野口の業績を顕彰し、金沢長浜に残存された「旧細菌検査室」の保存と活用を目的に、1998年発足し、現在の会員は約80名。今回の体験教室は、目玉事業の一つであり、次世代を担う小学生たちに科学する心を芽生えさせようと企画されたものである。「体験教室」には例年定員40名に対して30~50名の応募があったが、今年から参加費(500円)を設定したせいか、応募は14名、参加は6名と激減した。反省を踏まえて、来年も実施したい。昨年同様今回も、NPO法人横浜金沢文化協会から後援と支援金を頂き深謝申し上げます。(当保存会の分科会である「野口英世金沢委員会」は横浜金沢文化協会の団体会員として活動しています。)



金沢区写真連盟 第1回公募展

平成25年1月、当連盟の一大事業である公募展を企画、坂井文化協会理事を実行委員長に据え、12名体制の実行委員会を立ち上げた。公募展審査委員長に片岡順一連盟理事長、坂・佐野理事が審査委員。公募展会場が杉田劇場ギャラリーに決まり3月1日から作品募集を開始。その間、片岡、佐野両名が中心となりスポンサー探しに東奔西走。お蔭で、連盟の賞を除き、区長賞を含め12の特別賞が設定できた。3月15日応募を締め切った結果、金沢区内外から115名334点の応募があり、4月1日の1次審査で入選70点が決定。公募展開催前日の5月15日、会場にて元神奈川新聞社の大河原雅彦先生による公開審査が行われた。写真連盟大賞の米田信之氏の「土用の丑の日」を含め、好評であった解説付きで、22点の入賞が全て決まった。特筆すべきは、入選者最高齢92歳の谷合氏、3名の女子高生の入選、内1名は入賞であった。公募展は21日まで開催されたが、期間中の18日、片岡審査委員長によるギャラリートーク、続いて横浜テクタワーホテルに会場を移し、表彰式と懇親会が盛大に開催された。来賓には、林琢己金沢区長、写真家浜口タカシ氏ほか多数が出席、大いに盛り上がった。公募展は大成功の内に幕を閉じたが、実行委員各位のご努力、中でも坂井実行委員長のご苦勞に対して、敬意を表したい。



第12回 チャリティー 金沢スプリングコンサート

4月21日(日)、金沢公会堂にて、第12回金沢スプリングコンサートを開催しました。今年も大勢のお客様にご来場いただきました。恒例の歌手4名・ピアノストの計5名でのステージでしたが、「なつかしのあの歌をあなたと」の副題のごとく、「赤とんぼ」「花」「荒城の月」「黒猫のタンゴ」「ブラームスの子守歌」などの皆様にあされよく知られた曲が歌われ、お客様と一緒に歌う曲も多く取り入れられました。舞台と会場との一体感を楽しめたいと思えました。聞き手のお客様の参加があつてこそ成り立つのが、このコンサートです。お客様を始め、このコンサートを支えて下さる小幡様・浅野様・和田様に深く感謝申し上げます。(佐伯葉子)

〔横浜金沢文化協会は例年、金沢スプリングコンサート実行委員会から多額の寄付を頂いております。〕



第12回瀬戸神社居合道奉納演武

5月18日晴天の下、瀬戸神社境内にて、厳肅かつ力強い演武が開始されました。時間が経つとともに、境内に上つて来て演武に見られる人が多くなりました。本演武会が地域において関心を持たれた結果だと思えます。そこで何人かの人に、感想を聞きましたが、次に幾つかを紹介します。

- 形が綺麗で姿勢が良い。
- 真剣を持って見ているので見ていて緊張した。
- この子が大きくなったら習わせたい。
- 年齢に関係なく、迫力があり驚いた。
- こんなに色々なやり方(流派の意味)があるとは知らなかった。

皆様のこのような感想を裏切らないよう、なお一層の精武を肝に銘じた一日になりました。



生涯現役かなざわ会 設立20周年の集い



3月29日(金)午後1時より、「生涯現役かなざわ会設立20周年の集い」を、一般公開して金沢公会堂において、開催しました。約300人の聴衆が集まりました。演目は、横浜市役所職員による落語2題、二代目松原操(故霧島昇と松原操の三女)さんの「懐かしき昭和を歌う」、横浜ブリキのおもちゃ博物館館長でテレビ東京の番組「開運何でも鑑定団」の審査員でもある北原照久氏の「夢の実現へ北原流ツキの十か条」と題する講演でした。北原さんの話で「ツキはツイていると思うことです。ツイてないとネガティブに言う人は、その通りになってしまう。ピンチだと思っている状況でも、視点を変えれば大きく変わり、ツキはチャンスにさえなります」と言う言葉が印象的でした。



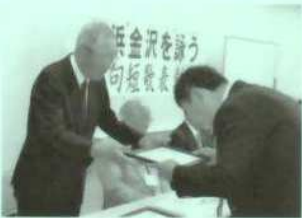
『横浜金沢を詠う』

平成24年度後期 俳句・短歌(第9回)表彰式

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催の「俳句短歌ポスト制度」第9回(平成24年度後期)表彰式が4月30日(火)、金沢区民活動センターで行われました。
次に被表彰作品を紹介します。

【俳句の部】

- ☆横浜市金沢区長賞
(天位) 平潟の磯の香りや梅の冷え
金沢区釜利谷西 山本かつみ
- (地位) イルカ跳ぶ三角屋根と暗雲
金沢区泥亀 太田 修
- ☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞
(天位) 麓かに脈うつ波の心地よさ
金沢区寺前 押見 篤
- (地位) 青柿落つ野口細菌検査室
金沢区能見台東 和氣 永子
- ☆横浜金沢文化協会理事長賞
(天位) たんばばに風の吹き抜け内海山
金沢区釜利谷西 福田 静江
- (地位) 枯蓬田街に変わりし半世紀
金沢区釜利谷西 池本 幸子
- ☆横浜金沢観光協会会長賞
(天位) 神木の榎千年の実を落とす
金沢区六浦南 岩澤 正春
- (地位) 広重の八景めぐり春隣
金沢区東朝比奈 森川 享
- ☆横浜金澤シティガイド協会理事長賞
(天位) 富士遙か八景島の秋高し
金沢区寺前 上原 宏江
- (地位) 小夜時雨「小泉夜雨」の手子神社
金沢区東朝比奈 遠山 輝夫



【短歌の部】

- ☆横浜市金沢区長賞
魚影見ぬ冬の宮川
千満の目途を示して護岸の牡蠣殻
金沢区西柴 内藤 和子
- ☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞
朝比奈のこもれ日の森
小鳥鳴き朝日まぶしい私の朝よ
金沢区東朝比奈 小原 茉莉
- ☆横浜金沢文化協会理事長賞
いにしへの賑はひ様す碑文立つ
能見堂跡やぶ椿咲く
金沢区釜利谷東 泰 正子
- ☆横浜金沢観光協会会長賞
修後の平潟公園広々と
児等の歓声ひとさわ高し
金沢区平潟町 本間 和子
- ☆横浜金澤シティガイド協会理事長賞
中世の面影残す白山の
古道は深く生い茂るなり
金沢区六浦東 高橋 正毅

文芸部活動報告

☆金沢区民俳句大会結果☆
金沢俳句会では6月2日(日)、金沢地区センターに42人の俳句愛好者を集めて、第15回「金沢区民俳句大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 暮鳴きて鎮守の間を深くせり
洗いたき地球の汚れ梅雨に入る
今朝の空帯に梅雨の重みかな
夕風の暮色に溶ける舫い舟
ものもの汗の世はるか切通し
仏像は大福耳や風薫る
瀬戸の路地どこを抜けても夏の海
平潟に波尖り来て夏兆す
指先に馴染む折り紙梅雨の入り
堰落つる水の勢ひや夏つばめ

☆金沢区民短歌(春季)大会結果☆

金沢区民歌人会では4月29日(月・祝)、八景コミュニティハウスに32人の短歌愛好者を集めて、「金沢区民短歌大会(春季)」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 苜むして面差し定かならずとも
大口あけて笑ふ阿羅漢
- 一生背負ふものの重さを知らぬ児の
ランドセルの中まつさらの間
- 悲しみの砂漠を偲び重からむ
日揮の社員となりし孫には
- またの会い約して老友と別れきぬ
過ぎゆきなべて語りつきねば
- ほつこりと茹であげし三浦大根に
柚子みそを塗るひとりの昼餉
- 手を触れずセンサーにより水を得る
労なきことに慣るるは恐し
- 「登ろう会」老いて「歩こう会」となり
ザックを背負ひ七福神巡る

- 北野 一清
- 惣野 圭子
- 戸田 澄子
- 太田 修
- 松本 隆男
- 中野 潤一
- 梶川 礼子
- 田所 正章
- 森川 享
- 齋場 直子
- 秦 正子
- 高尾 文子
- 光岡コト子
- 三浦八重子
- 酒井 典子
- 佐藤 良二
- 田中 正子

絵画「しおさい展」開催

小さな可愛い展示会が誕生しました。去る7月8日から13日の6日間、金沢区民活動センター展示コーナーにて、「絵画しおさい展」が開催されました。展示作品は、横浜金沢文化協会の絵画部個人会員5人と日頃より親交のある区民3人の計8人の小品(6号から10号)10点で、壁側に展示されました。なお、同コーナーのパネルには、同協会後援の第9回「金沢を詠う」表彰式で表彰された俳句と短歌が



文化協会「しおさい展」平成24年7月8日 金沢区民活動センター

展示され、区民の目とハートをくすぐる展示会となりました。これを機会に、絵画と文芸の協力展示を継続したい所存です。

入口には、かわいい鉢植えの花がかざられ会場をゆかしい雰囲気につつんでいました。作品は、「漢字」楷書の重厚さ、その説得力、趣のある柔軟さを秘めた「行書、草書」、これらの作品は、鑑賞するたびに、こころ動かされます。そして、流れるような連綿体でしなやかな「仮名書き」、日本古来の伝統文化の基盤です。また、近代詩文の新しい表現もすばらしく、それぞれ作者の心象をうつつしているようです。中には絵を入れた作品もあり、多彩で楽しい展覧会でした。

第27回金沢区書道協会展は、6月5日(水)から10日(月)まで、磯子区民文化センター・ギャラリーで開催されました。今回、案内ハガキもすつきりと新しくなりました。



第27回 金沢区書道協会展

八景島あじさい祭り茶会

6月9日(日)・16日(日)の2回、八景島客船ターミナルにおいて、金沢茶道会の奉仕による「あじさい祭り茶会」を催しました。堅苦しくならないように、軸は蟹の画賛、出雲籠には和芙蓉や河原撫子等の優しい花をたくさん生けました。幼稚園児や小学生からお年を召したご夫婦まで、幅広いお客様が一緒のお茶を楽しんでくれました。続いた日照りのせいで、初日の9日には萎れていた紫陽花も、16日には雨で生き返ったように色鮮やかでした。



旧伊藤博文金沢別邸茶会



4月7日(日)、前夜の嵐が嘘のように、お客様の足元を濡らすことのない良いお茶会日和となりました。寄り付きの客間棟では、博文公も愛でたであろう雨上がりの景勝を眺めることができました。本席では、床に尋牛齋筆の「閑座聴松風」の掛軸が掛けられ、前に檜扇香合、備前ひさご花入に花いかたと胡蝶侘助を生けて、お客様を迎えました。金沢茶道会は、裏千家・江戸千家・表千家のそれぞれの流派の先生が会員となって運営されています。今回は表千家のお手前でお客様を接待いたしました。心入れのお菓子とお抹茶で、ゆったりとした時の流れに、幸せを分かち合える一日でした。

赤ひげ先生 第二五四回忌法要

江戸時代8代将軍・徳川吉宗公の時、目安箱を通じて、貧しい病人を救う施薬院を提案し、小石川養生所肝煎(院長)に就任した医者「赤ひげ先生」こと小川箒船の没後二五四回忌の法要が、6月14日の命日に、片吹の臨濟宗海蔵山太寧寺で、子孫の小川明氏の主催、檀家・当文化協会などの協力により行われた。その際に、当文化協会賛助会員で富岡駅前和菓子店「横浜紅谷」特製の「赤ひげ養生饅頭」が墓前に供えられた。「医は仁術なり」を実践した名医・小川箒船は、昭和40年封切りの東宝映画「赤ひげ」(監督・黒沢明、出演は三船敏郎・加山雄三・山崎努ら)にも登場したが、晩年は、金沢八景の地に居住し「雲語子」と名乗り、遺言で当太寧寺に墓が作られたものである。



《川浪会員の個展》 色鉛筆植物画展

神奈川県立大船植物園第二展示場で、7月9日から15日までの一週間、色鉛筆植物画の「ヒマワリ展」を開催しました。実物大30センチ内外の360度正面・左45度・真横90度・真裏180度と225度の5枚シリーズを中心に55作品を展示しました。また、私の作品の展示場内では、鉢植のヒマワリ13品種(白花のココナッツアイス・チョコレート色の花のムーランージュ・八重咲のモネやゴーギャンなど)が見頃となり、



あの猛暑の中、延500人以上の方々が、私の絵画と実物のヒマワリを同時に鑑賞することが出来て、大変喜んでおりました。



第5回 金美協展

5回目を迎えた「金美協展」(金沢区美術協会会員の作品展)が、5月28日(火)から6月2日(日)まで、横浜金沢文化協会の後援を受け、横浜市吉野町市民プラザ・ギャラリーで開催されました。同展には、会員の作品81点(油彩・水彩・水墨・切り絵・彫刻・コンテ・混合)と幅広いジャンルの作品が展示され、多くの皆様にご高覧頂きました。

また、市内各区の美術団体並びに美術関係の方々が来展され、「年々出展作品のレベルが目に見えてアップされている」との評価を頂き、出展者一同、新たな意欲が沸いた展示会になりました。

なお、金沢区美術協会は、例年通り本年も11月21日(木)から26日(火)の間、能見台地区センターにて、公募の第6回金沢美術展を開催します。皆様の出品とご来場をお待ちしております。



予告!!

文化講演会

「野口英世 in 金沢」

～講演と音楽を楽しむつどい～

☆開催日時 **11月4日(月・祝日)**
午後1時00分
～午後4時30分

☆開催場所 金沢公会堂

☆講演会と音楽会

第1部 文化講演会

「野口英世の人となり」

講師：野口英世記念会理事長

八子 彌 壽 男

第2部 「音楽を楽しむつどい」

司 会=FM71-編/パーソナリティ 阿部きみえ

出 演=ピアニスト 斎藤真理恵

声 楽 家 佐伯 葉子

ギタリスト 東 隆幸

合唱 横浜並木男声合唱団

☆入 場 料 500円

☞チケットは下記のお店でお求めください☞

☀**岩下書店** (アピタ金沢文庫店3階)

☀**ブルスト** (金沢文庫病院真向いの手作りハム・ソーセージの店)



第42回

金沢吹奏楽団 定期演奏会

去る9月1日、第42回金沢吹奏楽団定期演奏会を、鎌倉芸術館にて開催しました。暑い中多くの方にご来場いただきありがとうございました。第1部は、昨年より常任指揮者となった岩田晴之先生の初の定期演奏会での指揮による吹奏楽のための風景詩「日が昇るとき」や、第2部のポップスステージは羽田野直彦先生指揮での岩井直博作・編曲作品の数々、復興への序曲「夢の明日に」や、今回初演となる「かなすい」のために岩井先生が編曲された新譜などを演奏。体調を崩され止むを得ず出演できなくなった岩井先生によるステージを楽しみにして下さっていた皆様に、改めてお詫び申し上げますとともに、「かなすい」に息づく岩井サウンドをより盛り上げて下さった羽田野先生と、ご来場の皆様の暖かい拍手に助けていただいて、第42回定期演奏会を無事終了できましたことを全団員よりお礼申し上げます。次回演奏会は、クリスマス・コンサートを12月22日(日)、金沢公会堂で行います。



“歴史と文化の薫る街づくり!!”

活動部門

- ◎総合文化部
- ◎絵画部
- ◎書道部
- ◎写真部
- ◎手工芸部
- ◎文芸部
- ◎歴史部
- ◎楽器部
- ◎合唱部
- ◎声楽部
- ◎邦楽部
- ◎吟剣詩舞部
- ◎華道部
- ◎茶道部
- ◎郷土芸能部
- ◎謡曲部
- ◎民謡民舞部
- ◎陶芸部
- ◎邦舞部
- ◎洋舞部
- ◎朗読部
- ◎武道部
- ◎児童文化部
- ◎一般文化部

事業助成

横浜金沢文化協会の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、**名義使用の許可及び資金援助**を、年1回限りで行っています。

年会費

個人	2,000円
団体	7,500円(会員25人以下)
	10,500円(会員26人~50人)
	15,000円(会員51人以上)
	※入会金なし

問合せ先

NPO法人横浜金沢文化協会
 事務局長 坂(ばん)直孝
 電話 045-785-6722

NPO法人 横浜金沢文化協会
 会員を募集中!!

当協会は、金沢文庫を創設し我が国の学術振興を図った北条実時を追慕し、武蔵国金沢以来の伝統をひまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて、地域文化の総合的發展に寄与することを目的(設立の志)としています。

~金沢区に文化センターを!!~

6月18日(火)、釜利谷の白山道トンネル北側山麓に所在する「**富士六郎重保公廟所**」の清掃活動を、文化協会及び地元有志が実施しました。廟所内外に生えていたドクダミやヤブガラシ等の雑草を取り除く清掃を行った後、除草剤を散布しました。

釜利谷地区は、鎌倉時代には、富士重忠公の領地であったと伝えられ、その嫡男である富士六郎重保公が、釜利谷の曹洞宗竹嵩山禅林寺の境外墓地(当廟所)に祀られています。

富士六郎重保公廟所の清掃活動



7月26日の同別邸庭園の清掃(除草等)は、横浜金沢文化協会・横浜金沢シテイガイド協会のほか、地元町会の方々、野島花の会のボランティアの皆さんなど大勢の参加があり、約1時間で終了。前所長の渋谷氏が作って下さった美味しいシソのジュースをご馳走になりました。



旧伊藤博文金沢別邸の清掃活動

6月28日、旧伊藤博文金沢別邸運営協力会の総会が開催され、新しく赴任された坂部淑子係長より、挨拶がありました。平成24年度の報告と25年度の計画について討議が行われ、運営協力会としては、7月26日に例年通り清掃を実施し、5周年の記念祭を26年度には是非実現させることと



家族で楽しめる音楽会

ファミリーコンサートの開催

グループ組曲は、2月24日(日)に、金沢公会堂で「ファミリーコンサート」を開催しました。金沢区市民活動サポート補助金の助成と金沢区役所、横浜金沢文化協会の後援を得ての実施です。グループ組曲は、横浜市の委嘱委員である六浦西地区保健活動推進員会を母体に構成されています。保活の主な仕事は、地域の皆様の健康づくりのお手伝い。体の健康は勿論ですが、小さい時から本物の音楽に接することで「心の健康」を育ててほしいというのが、「家族で楽しめるコンサート」実施のコンセプトです。当日は私たちの心配をよそに大盛況。プロの演奏家による生の音楽や歌、クラシック音楽とモダンバレエのコラボレーションと語りも好評でした。来年2月23日(日)には、第2回のコンサートを開催予定です。生の演奏に親しんでもらうことに加え、大画面の映像と音楽と語りで「深海の不思議」を感じてもらいたいと企画しております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

文化協会行事予定(日程順)

9月25日(水) 金沢公会堂 色鉛筆植物画教室	9月29日(日) 金沢地区センター 横浜金沢写真連盟・第1回写真セミナー	10月11日(金) 15日(火) 兼夜センター体育館 金沢区民文化祭・区民の作品展	10月12日(土) 13日(日) 兼夜センター体育館 金沢区民文化祭・華道展	10月13日(日) 金沢地区センター2階和室&ロビー 金沢区民文化祭・茶会	10月20日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区音楽のつどい	10月26日(土) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・吟と舞の祭典	10月27日(日) 長浜公園(並木コミュニティハウス) 第24回金沢区民俳句(吟行)大会	10月31日(木) 金沢区民活動センター 「金沢を詠う」俳句短歌表彰式	11月3日(日) 祝 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢三曲演奏会	11月4日(月) 祝 金沢公会堂 文化講演会「野口英世 in 金沢」	11月21日(木) 26日(火) 能登台地区センター 第6回金沢区美術展	11月 八景コミュニティハウス 金沢区民短歌大会	11月24日(日) 金沢公会堂 兼夜文芸祭・兼夜シンフォニクラムコンサート	12月1日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区日本舞踊連盟公演	12月8日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区小・中学校音楽祭	12月22日(日) 金沢公会堂 「かなすい」クリスマス・チャリティ・コンサート	2月23日(日) 金沢公会堂 グループ組曲「ファミリーコンサート」	3月下旬 野島公園 海苔づくり教室	生花の展示 金沢地区センター・県立金沢文庫・ 区役所玄関前を通じ、旧合玉堂邸(毎月第1土曜日)
(701) 0711	(788) 7806	(783) 9740	090 7189 5298	(771) 6167	(784) 4353	(788) 2691	(782) 1055	(771) 3720	(785) 6722	(781) 1483	(781) 5044	(781) 5044	(783) 2284	(771) 8783	(778) 0988	(701) 0711	(788) 2806	(785) 6722	090 5435 7300

個人会員紹介



書道部 高橋 清深
戦前、二人の姉のお習字について行ったのが私の書道への始まりでした。終戦前後の混乱期を経てから、体験

したいことが沢山ありました。絵画でデッサン、陶芸の窯設置、大変でした。それから和稽古事等、多くの師匠にお世話になりました。今、生きている喜び楽しみは、そのお蔭と何時も感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。



茶道部 坂下 静雅
茶道部の「煎茶道会」に所属しております。煎茶(松香庵流)を始め50年、行事に追われ

ながらも茶会での交流、お道具とのふれあいを楽しんでおります。富岡に住んで40年になります。その間しばらく、海外での生活を経験しましたが、日本文化の大切さを強く感じました。海外での日本文化の関心は想像以上です。金沢区は文化活動が盛んですし、所縁のある伊藤博文公は煎茶趣味の愛好家でした。私もこれからも楽しみながら続けたいと思います。



邦楽部 佐野 史瑞子
横浜生まれの横浜育ちです。金沢八景で母の代から箏曲・地唄三絃を教えています。いつ

から爪をはめたのか定かではなく、年齢と芸歴がほとんど同じです。金沢三曲会と文化協会の創立時から会員です。他流派の先生方や文化協会の様々な部門との交流はとても楽しく、また教えていただくことも多く、視野と活動の幅が広がりました。曲の暗譜に追われる毎日ですが、頑張って生涯現役をめざします。



写真部 鈴木 稔
現役時代から現在まで、まちづくり活動として良好な住環境を残すために「建築協定」を

締結しその運営と、横浜市からの依頼を受け横浜市各地に協定の締結及び運営について指導を行ってきました。また、趣味は写真で小学校時代から手作りカメラや現像の面白さに夢中になり、写真屋へ遊びに行ったりしたこともありました。「カメラは身上を潰す」と、田舎では諺的に言われ、手にすることが出来ませんでした。が、就職して暫くしてから給料でカメラを手にした時の感動が、今も忘れられません。



書道部 大塚 香桂
金沢区書道協会設立にお誘い頂いて、中央での幾つかの書展に毎年出品しながら、神奈

川での活動も二、三増えました。展覧会攻めの忙しい生活でしたが、恩師の成瀬映山先生は、「地元は大切に」、と励まして下さいました。国立から、そして並木から世田谷のお宅まで、その教えを乞いに35年間、毎週通いました。今でもテレビに映る師の書による「文化庁」の看板の文字が眼に入る度に励まされております。日本の書を大切に希って止みません。

編集 後記

「夏は暑い季節」とは当たり前ですが、それにしても今年は、「心頭を滅却できぬ」酷暑でした。それらを乗り越えての皆様活躍の数々を取りまとめました。今後とも、皆様の華々しい文化活動を期待しております。

編集委員

- 一之瀬 炯次・榎本 あけみ・小櫃 健一
 - 橘川 和夫・後藤 政也・佐野 史瑞子
 - 白井 俊一・鈴木 稔・田宮 初重
 - 野中 建吾・坂 直孝・森川 淳子
- (五十音順)